

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮)元希者センター建設事業	階数	地上3F
建設地	大阪府松原市田井城三丁目104番1	構造	S造
用途地域	近隣商業地域及び第2種中高層住居	平均居住人員	0人
気候区分	5地域	年間使用時間	6,570時間/年
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年4月 予定	評価の実施日	2016年2月15日
敷地面積	3,048㎡	作成者	大和リース株式会社
建築面積	1,331㎡	確認日	2016年2月20日
延床面積	3,643㎡	確認者	長谷川 佳紀

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 86%
③上記+②以外の 86%
④上記+ 86%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境 (Q1のスコア= 3.0)	Q2 サービス性能 (Q2のスコア= 2.9)	Q3 室外環境(敷地内) (Q3のスコア= 2.6)
音環境: 2.6, 温熱環境: 3.0, 光・視環境: N.A., 空気質環境: 2.5	機能性: 2.8, 耐用性: 2.8, 対応性: 3.3	生物環境: 3.0, まちなみ: 2.0, 地域性: 3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー (LR1のスコア= 4.1)	LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア= 2.7)	LR3 敷地外環境 (LR3のスコア= 3.1)
建物外皮の: 5.0, 自然エネ: 3.0, 設備システ: 4.4, 効率的: 3.0	水資源: 2.2, 非再生材料の: 2.6, 汚染物質: 3.7	地球温暖化: 2.5, 地域環境: 3.0, 周辺環境: 3.0

3 設計上の配慮事項

総合 当建築物は、住宅地帯の中に立地し比較的、建ぺい率が小さく規定された地域にあります。よって、道路に面する壁面は出来るだけ後退させ周辺の環境に溶け込む様に計画します。又、来客用に十分な駐車スペースを確保し、公共交通の流通性に配慮します。	その他 特に配慮はしません。	
Q1 室内環境 天井の高さを4.5m確保し、ゆったりとした空間の創出に配慮します。又、壁・天井の仕上材等もF☆☆☆☆の材料を使用し、有害物質の発散を小さく抑えるように配慮します。	Q2 サービス性能 店内はバリアフリー仕様とし、廊下・階段等の幅を大きくとり、来店客の移動をスムーズに行える様に配慮します。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内は多くの植栽を植えて周囲の良環境の創設・維持につとめます。
LR1 エネルギー 照明機器はLED機器を仕様し、空調機器に関してはCOPの高い機器を使用します。	LR2 資源・マテリアル 特に配慮はしません。	LR3 敷地外環境 空調機器はノンフロン冷媒を使用し、排熱に関して直接道路に排出しないように配慮します。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0121

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】	建物名称	(仮) 元希者センター建設事業					
	建設地	松原市田井城三丁目104番1・2・4・5・6, 105番6					
	用途/区分	集会所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
	CO2削減					4	
	省エネ対策					4	
	みどり・ヒート アイランド対策					3	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					報告しない	

【評価項目】							
省エネルギー対策		① CO2削減					
		② 省エネ対策					
項目		評価内容			スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.5	4	
② 省エネ 対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価	建物全体	3.0	4		
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価		5.0			
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価		3.0			
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価		4.4			
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価		3.0			
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価		2.2			
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策					
項目		評価内容			スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			3.0	3	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			3.0		
その他							
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項		
特に配慮した事項							